



報告書

令和4年7月20日

小牧市議会議長 様

会派名 無会派 代表者 諸岡英実
代表者氏名 諸岡英実

研修・調査を行いましたので、その結果を報告します。

記

1 調査日

令和4年7月11日（月） 11:00～

令和4年7月13日（水） 14:10

2 調査先及び調査項目

- (1) 滋賀県大津市 全国市町村国際文化研修所
令和4年度 市町村議会議員研修〔3日間コース〕
社会保障・社会福祉

3 参加議員（敬称略）

小牧市議会：諸岡英実

4 調査内容

子育て支援、介護保険、地域医療、生活困窮者支援、地域共生社会などについて「2025年問題」「2040年問題」等急激な少子高齢化・人口減少社会に照らし合せた制度改革を学びました。

① 日時

令和4年7月11日（月）11時～

令和4年7月13日（水）14：10頃

② 訪問先

滋賀県大津市 全国市町村国際文化研修所

③ 説明者

持続可能な福祉社会の現状と課題

原田啓一郎

子育て支援と少子化対策

奥山千鶴子

介護保険と地域包括ケアにおける市町村と議会の役割

三原岳

地域医療の現状と課題

尾形裕也

生活困窮者の実態と支援策

垣田裕介

地域共生社会の実現に向けて

古都賢一

④ 調査項目

子育て支援、介護保険、地域医療、生活困窮者支援、地域共生社会を調査項目とした。「2025年問題」「2040年問題」等急激な少子高齢化・人口減少社会に対応した社会保障・社会福祉の見直しが求められている。

現在の状況や制度を理解したうえで、上記のテーマに関する講義や事例などを通して、現在の地域における福祉を取り巻く諸課題について学びました。

⑤ 視察先の選定理由や目的

調査項目に合った研修コースがあり、現状の制度の理解を深め、諸課題について問題提起能力を高める為。

⑥ 視察項目の概要説明

初日は、我が国が直面している人口問題、地域の現状や課題をあきらかにし、持続可能な社会保障政策の実現に向けた自治体の役割について共有したのち、コロナ禍の地域のこども政策の現状と新たな展開の方向性について講義を受けた。

2日目は介護保険制度について歴史と現状を学んだのち、「地域包括ケ

ア」が地域の自主性を求めている点について、行政や住民、専門職、民間企業が連携する事例を議会に求められる役割を学んだ。地域医療構想についての理解を深め、課題を学んだのちは、コロナ禍の長期化によって増大した生活困窮者問題について、包括的な支援体制の構築が効果的な事業の進め方について講義を受けた。

3日目は、人口減少をはじめとする社会構造の変化による地域課題の複雑化について、問題別に理解を深めた。包括的支援体制の構築や地域福祉計画の策定など、地域共生社会の実現に向けた考え方と市町村に求められる役割について学んだ。

⑦ 議員からの主な質疑

各地域の現状について、どのような課題提起をし、解決していくべきか質問する声が、多かった。

⑧ 考察（小牧市への反映）

令和2年小牧市の出生数が1000人を割り込んだことについて重い課題意識を抱えており、本市の人口減少も例外ではない。本質的な子育て環境の向上、持続可能なまちづくりについて政策を深める為には、社会保障・福祉に対する理解を深めなければならないと考え受講。

特に子育て支援と少子化対策では、先進都市において、ファミリーサポートセンターが多機能かつ機動的な役割を担っていたことが印象的。

人口減少社会では、地域に子どもがいないことが多いため、「はじめての子どもが生まれる前に、赤ちゃんの世話をしたことがあるか」というアンケートについて、「赤ちゃんの初めての世話の体験が、自身の子育て経験だった」という場合がほぼ8割となっていたことから、自分自身の人生において子どもがいる想像ができない、子どもを持つハードルが高まっていることが少子化の一要因として大きいことが分かった。

このことから、特にファミリーサポートといえば、高齢の援助会員による依頼会員への支援が一般的だが、大学生や妊産婦の希望者に対して、ちょこっと育児体験として、保育所やファミリーサポートセンターと連携した保育活動を体験することも、子育て支援策として効果的であることが分かった。これは小牧市にも提言したい内容である。

介護保険と地域包括ケアでは、そもそも多義的に使われる地域包括ケアというワードが、行政の中でプラスチックワードとして使われていないか、

監視をする必要があるということがわかった。「地域で高齢者・障がい者を守る」「地域の連携で施策を進めていく」の「地域」とは誰・何を指すのか、地域という言葉で、改善すべき課題について行政がうまくかわしていないかなどのチェックポイントを頂いた。こういった答弁が出てきた際は、「地域の誰、何」が連携すればよいのか、政策を議論する際のチェック項目としたい。地域医療構想については、資料を引き続き読み込み、課題を明確にしたいと考える。